

1 単元名 Unit 5 A Legacy for Peace

2 単元の目標

- ・名詞を修飾する文と、関係代名詞を用いた文の理解をもとに、人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。
- ・ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考え、自分ができることを英語で伝えることができる。

3 単元について

(1) 教材観

本単元では関係代名詞を初出として扱っている。人物や物事についての情報をさらに付け加えるための用法として理解させたい。その際、二つの文をつなげて一つにするといった形式操作ではなく、関係詞節が必要な情報を与えることで、先行詞である名詞がどのような人物や物事であるかを特定し、円滑なコミュニケーションを可能にしていることに気づかせる指導をしていきたい。また、本単元はインドの民族独立運動の最高指導者であるガンディーを扱っており、ここで紹介されている平和や人権における基本思想は、彼の活動の根底に流れる非暴力の精神であり、自分の身体を犠牲にしても非暴力を主張し続けたガンディーの生き方について、少しでも自分にひきつけて考えることが本単元を扱ううえで大切なことであるとする。

(2) 生徒観

全体的に、生徒はペアやグループでの英語コミュニケーション活動や教師とのやり取りに積極的に取り組むことができる。しかし、個々の生徒の表現力、語彙力によって、スムーズなコミュニケーションにつなげられない生徒も少なくない。そこで、1学期から「個別最適な学び」を意識した授業づくりをしてきた。英語が得意な生徒はもちろん、苦手な生徒も含め、「誰一人取り残さない」英語授業をモットーとして、誰もが意欲的に授業に取り組めるように、各ワークシートを生徒が自分の学習状況に合わせてレベルを選択できるようにしてきた。また、個々が持つタブレット端末の学習者用デジタル教科書を使い、生徒自身が音声の再生スピードを選び、自分のペースで音読練習ができるようにもした。本時の授業においても、自分自身でやり方を選択しながら、登場人物やガンディーについて得た情報をもとに、自分なりの表現で伝え、自信を持って英語による言語活動に取り組むことのできる生徒の育成をしていきたい。

(3) 指導観

ガンディーの非暴力を基本とした独立抵抗運動の内容を知ることを通して「理不尽なことに屈しない心」「暴力に訴えない行動」について深く感得させたい。また新言語材料として、関係代名詞の諸用法が扱われており、人や物をさらに具体的に説明する方法について理解させるとともに、それらを用いて簡単な自己表現ができるところまで指導していきたい。その際に、「個別最適な学び」の視点を踏まえ、各ワークシートを生徒が自分の学習状況に合わせてレベルを選択できるようにしたり、「協働的な学び」の視点を踏まえ、ペアでの対話練習から様々な表現方法に触れることができるようにしたりする。また、タブレット端末の学習者用デジタル教科書を使い、生徒自身が音声の再生スピードを選び、自分のペースで音読練習ができるように留意する。

(4) ESDとの関連

- ・ 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

公平性：差別を許さず、公平な世の中を実現しなければならない。

連携性：自分と違う人を排除することなく違いを受け入れ、認め合い、協力していく必要がある。

・ 本学習を通して育てたいESDの資質・能力

コミュニケーションを行う力

公平な世界を実現するために、他者を大切にしたコミュニケーションを図ろうとする力をつける。

つながりを尊重する態度

公平な世界を実現するために、自身の考え方を見つめなおすとともに、他者を尊重する態度を身につける。

・ 本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正

差別のない公平な世界をつくり、それを次の世代へつないでいく責任が私たちにはある。

世代内の公正

今ある差別を許さず、一人ひとりが差別解消にむけて取り組む必要がある。

人権・文化を尊重する（文化多様性の尊重）

自分と違う価値観、文化背景等をもった人を認め大切にする。

・ 達成が期待されるSDGs

10 人や国の不平等をなくそう

16 平和と公正をすべての人に

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 聞くこと	〔知識〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which]（主格・目的格）を用いた文の意味を理解している。 〔技能〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which]（主格・目的格）を用いた文の理解をもとに、どのような人か、どのようなものかについて話される対話の内容を聞き取る技能を身につけている。	どのような人か、どのようなものかを理解するために、言葉に加えられた情報をもとにして、話される対話の要点を捉えている。	どのような人か、どのようなものかを理解するために、言葉に加えられた情報をもとにして、話される対話の要点を捉えようとしている。
② 読むこと	〔知識〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which]（主格・目的格）を用いた文の形・意味を理解している。 〔技能〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which]（主格・目的格）を用いた文の理解をもとに、どのような人か、どのようなものかについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えている。	平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えようとしている。
③ 話すこと「やり取り」	〔知識〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which]（主格・目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which]（主格・目的格）を用いた文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明し合う技能を身につけている。	どのような人やものかを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	どのような人やものかを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

④ 話すこと 「発表」	〔知識〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて話す技能を身につけている。	ガンディーについて情報を整理し、自分なりの文章としてまとめたものや、平和のために日常生活で自分ができること（自分がどんな人になりたいか）を文章としてまとめたものをもとに発表している。	ガンディーについて情報を整理し、自分なりの文章としてまとめたものや、平和のために日常生活で自分ができること（自分がどんな人になりたいか）を文章としてまとめたものをもとに発表しようとしている。
⑤ 書くこと	〔知識〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて書く技能を身につけている。	ガンディーについて情報を整理し、自分なりの文章としてまとめたものや、平和のために日常生活で自分ができること（自分がどんな人になりたいか）を文章としてまとめたものをもとに発表するための原稿を書いている。	ガンディーについて情報を整理し、自分なりの文章としてまとめたものや、平和のために日常生活で自分ができること（自分がどんな人になりたいか）を文章としてまとめたものをもとに発表するための原稿を書こうとしている。

5 単元の指導計画（全10時間）

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法 □：指導に生かすための評価 ■：記録に残す評価
1	どのような人[もの]かを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	・「個別最適な学び」の視点から、レベル別のワークシートを用意する。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	□思考・判断・表現③ （生徒観察） □主体的に学習に取り組む態度③ （生徒観察） □知識・技能⑤ （ワークシート）
2	教科書を通して、接触節の用法を用いた文をもとに、情報を自分の表現で伝える。	・「個別最適な学び」の視点から、レベル別のワークシートを用意したり、学習者用デジタル教科書の再生スピードを生徒自身が選択できるようにしたりする。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	□思考・判断・表現①③ （生徒観察） □主体的に学習に取り組む態度①③ （生徒観察） □思考・判断・表現⑤ （ワークシート）
3	どのような人かを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	・「個別最適な学び」の視点から、レベル別のワークシートを用意する。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	□思考・判断・表現③ （生徒観察） □主体的に学習に取り組む態度③ （生徒観察） □知識・技能⑤ （ワークシート）
4 （本時）	教科書を通して、関係代名詞 who の用法を用いた対話文をもとに、情報を自分の表現で伝える。	・「個別最適な学び」の視点から、レベル別のワークシートを用意したり、学習者用デジタル教科書の再生スピードを生徒自身が選択できるようにしたりする。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	□思考・判断・表現①③ （生徒観察） □主体的に学習に取り組む態度①③ （生徒観察） □思考・判断・表現⑤ （ワークシート）
5	どのようなものを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	・「個別最適な学び」の視点から、レベル別のワークシートを用意する。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	□思考・判断・表現③ （生徒観察） □主体的に学習に取り組む態度③ （生徒観察） □知識・技能⑤ （ワークシート）

6	ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉える。	・「個別最適な学び」の視点から、ワークシートの問題の解き方を生徒自身が選択できるようにしたり、学習者用デジタル教科書の再生スピードを生徒自身が選択できるようにしたりする。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	☐ 主体的に学習に取り組む態度②③ (生徒観察) ☐ 思考・判断・表現② (ワークシート)
7	ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉える。	・「個別最適な学び」の視点から、ワークシートの問題の解き方を生徒自身が選択できるようにしたり、学習者用デジタル教科書の再生スピードを生徒自身が選択できるようにしたりする。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	☐ 主体的に学習に取り組む態度②③ (生徒観察) ☐ 思考・判断・表現② (ワークシート)
8	ガンディーの生涯と功績について、時間軸に沿って説明する。	・「個別最適な学び」の視点から、活動のやり方を生徒自身が選択できるようにしたり、学習者用デジタル教科書の再生スピードを生徒自身が選択できるようにしたりする。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	☐ 思考・判断・表現②③ (生徒観察) ☐ 主体的に学習に取り組む態度②③ (生徒観察) ☐ 思考・判断・表現⑤ (ワークシート)
9	なぜガンディーが多くの人々から大いに尊敬されているのかを英語で伝える。	・「個別最適な学び」の視点から、活動のやり方を生徒自身が選択できるようにしたり、学習者用デジタル教科書の再生スピードを生徒自身が選択できるようにしたりする。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	☐ 思考・判断・表現②③ (生徒観察) ☐ 主体的に学習に取り組む態度②③ (生徒観察) ☐ 思考・判断・表現⑤ (ワークシート)
10	持続可能な社会の創り手の一人として世界を平和にするために、日常生活で自分ができること(自分がどんな人になりたいか)を英語で伝える。	・「個別最適な学び」の視点から、活動のやり方を生徒自身が選択できるようにしたり、学習者用デジタル教科書の再生スピードを生徒自身が選択できるようにしたりする。 ・「協働的な学び」の視点から、ペアワークを取り入れる。	☐ 思考・判断・表現②③ (生徒観察) ☐ 主体的に学習に取り組む態度②③ (生徒観察) ☒ 思考・判断・表現⑤ (ワークシート)